

2021年度上期 家賃補助金交付先

< 1 > ミラックスセラピューティクス 株式会社

(入居施設：千葉大亥鼻イノベーションプラザ)

< 2 > 株式会社 インファーマシア

(入居施設：CHIBA-LABO)

< 3 > 株式会社 アジアブリッジパートナーズ

(入居施設：ジャパン・ビジネス・センター)

< 4 > 株式会社 EUZEN

(入居施設：CHIBA-LABO)

※ 申請受付順に記載

< 1 >

交付先 ミラックスセラピューティクス 株式会社（本社：東京都千代田区）

入居施設 千葉大亥鼻イノベーションプラザ（千葉市中央区）

代表者 代表取締役 伊庭 英夫

業 種 製造業、医療用医薬品の研究開発

事業・研究開発概要

【 D P F タンパク質阻害薬の開発 】

当社は、千葉大学発のバイオベンチャー企業。

千葉大亥鼻イノベーションプラザ内の自社研究所で、医薬品開発のための研究を実施するとともに、千葉大学真菌医学研究センターに設置されている大学との共同研究部門で、分子機構の基礎的解析や予備的な動物実験を行っている。

当社代表らは、これまでの大学での研究で、D P F タンパク質が、N F - κ B の活性化において重要な役割を果たしていることを発見した。N F - κ B は、炎症・免疫・がん等に広く関与する重要な転写因子であり、多くの製薬会社がこの転写活性化を阻害する医薬品の研究を進めてきたが、いまだ開発には至っていない。

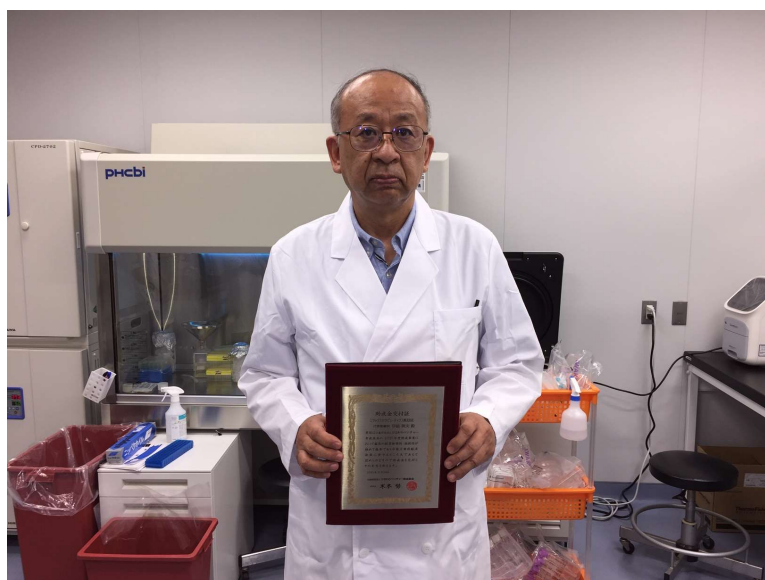
本プロジェクトでは、N F - κ B の活性化を抑えるため、このD P F タンパク質の機能を阻害する医薬品の開発を目指す。

当社は、これまでAMEDの支援のもと、大手製薬会社の低分子化合物ライブラリー（約40万種）を用いたスクリーニングを実施。その結果、D P F タンパク質に結合して、N F - κ B の転写活性化を効率よく阻害するヒット化合物の単離に成功している。

今後は、培養細胞を使ったスクリーニングで、ヒット化合物やその誘導体の生物活性を評価、最適の適応症を絞り込み、医薬品開発の方向性と導出先を決定していく方針。

適応症については、多くが考えられるなか、当社では、特に、①サイトカインストーム、②悪性腫瘍、③線維性疾患の3病態に対する医薬品の開発を念頭に置いている。

※ 助成金のほか、家賃補助金（入居施設：千葉大亥鼻イノベーションプラザ）を交付



< 2 >

交 付 先 株式会社 インファーマシア
入居施設 CHIBA-LABO（千葉市中央区）
代 表 者 代表取締役 井 上 誠
業 種 医薬開発候補品の研究開発・受託・製造

事業・研究開発概要

【 加齢疾患治療・予防薬創製に向けた脂肪組織への遺伝子導入技術確立 】

当社は、まだ市場として開拓されていない加齢疾患予防薬（医薬開発候補品）の実現に向け、脂肪組織を標的とした、ウイルスを用いない遺伝子治療を安全かつ安価な治療手段として確立するための研究開発を行っている。

現在は、千葉大学との共同研究のもと「ヒト脂肪組織培養技術」および「脂肪組織遺伝子導入技術」の確立に取り組んでいる。

< 3 >

交 付 先 株式会社 アジアブリッジパートナーズ
入居施設 ジャパン・ビジネス・センター（千葉市美浜区）
代 表 者 代表取締役 羽 生 武 史
業 種 サービス業

事業・研究開発概要

【 日本就労外国人・留学生向け「多言語・情報・研修プラットフォーム」の開発 】

当社は、外国人労働者の権利を守り、日本企業が責任をもって外国人労働者を受け入れ、真のダイバーシティを実現することを目的に、日本就労外国人・留学生に向けた「多言語・情報・研修プラットフォーム（サービス名：SASAEAO）」の開発を手掛けている。行政、企業、大学などと連携したソーシャルビジネスとしてスタートさせる計画で、このビジネスモデルは、日本経済新聞社が主宰する「第4回 日経ソーシャルビジネスコンテスト」において、応募約 400 先の中から、15 先のファイナリストとして選出されている。

< 4 >

交 付 先 株式会社 E U Z E n (ユーゼン)
入居施設 CH I B A - L A B O (千葉市中央区)
代 表 者 代表取締役 亀 田 義 人
業 種 ヘルスケア領域のアプリケーションソフトウェアの設計・開発・販売、
 コンサルティング業

事業・研究開発概要

【 医療・介護の働き方改革推進アプリケーションソフト開発 】

当社は、医療機関の働き方改革の推進、生産性の向上、持続可能性の保持、医療の質の向上を図ることを目的に、医師やヘルスケア関連施設に勤務する職員の業務支援アプリケーション「医師の業務のタスクシフトと進捗管理の見える化アプリケーション」、および、「医療・介護従事者のタレントマネジメントシステム」の開発を行っている。
代表者の病院運営や業務改革に携わってきた経験と知識を活かすことで、他社では実現不可能な新製品・サービスの提供を目指している。